

授業科目	補聴器・人工内耳				
担当者	竹田利一・福田信二郎				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

補聴器のフィッティングにおける総合的な知識、補聴器適応の決定、補聴器の調整、選択、補聴器適合検査の指針（竹田）人工内耳や残存聴力活用型人工内耳（EAS）、人工中耳（VSB）の仕組みや適応、マッピング、聴覚障害者の臨床の実際について学ぶ（福田）

■ 到達目標

補聴器のフィッティングにおける総合的な知識、補聴器適応の決定、調整と選択の基礎、補聴器適合検査結果の評価（竹田）人工内耳や残存聴力活用型人工内耳（EAS）、人工中耳（VSB）の原理を知り、適応や装用、リハビリテーションの内容や進め方を説明できる。補聴器・人工内耳装用者など聴覚障害者に適切な関わり方ができ、必要な（リ）ハビリテーションを提案することができる。（福田）

■ 授業計画

- 第1回 補聴器の種類と仕組み（竹田）
- 第2回 補聴器の性能（補聴器の最新デジタル機能）（竹田）
- 第3回 補聴器に関する測定、JIS、カプラの違い、実耳測定、補聴器特性検査装置を使った実習（竹田）
- 第4回 補聴器調整器の使い方、調整器の意味（竹田）
- 第5回 イヤモールドに関する講義（竹田）
- 第6回 補聴器のフィッティングの考え方（リニア、ノンリニア増幅）（竹田）
- 第7回 補聴器の適応と選択（竹田）
- 第8回 補聴器装用指導（竹田）
- 第9回 人工内耳の仕組みと適応について（福田）
- 第10回 人工内耳のマッピングの実際、人工内耳の（リ）ハビリテーション（福田）
- 第11回 残存聴力活用型人工内耳（EAS）、人工中耳（VSB）の仕組みと適応について（福田）
- 第12回 聴覚障害者への支援、聴覚障害児の母親指導について（福田）
- 第13回 補聴器総復習（福田）
- 第14回 人工内耳総復習（福田）
- 第15回 聴覚障害総復習（福田）

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

第1回～第8回は、1年時、2年前期に学習した補聴器の仕組み、特性測定の復習をして講義に臨むこと。第13回～第15回は聴覚障害Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、耳鼻咽喉科学、補聴器・人工内耳で学んだ内容の総復習なので、これまで学習した内容を必ず見返しておくこと。

■ 教科書

書名：補聴器フィッティングと適応の考え方
 著者名：小寺一興
 出版社：診断と治療社

■ 参考図書

--

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。